

事業への取り組み

本事業は施設の特異性から、整備完了までに多様な検討や関係各署との調整などが必要であった。関東地整は、**企画からマネジメント、設計までの各場面にて事業実施に貢献した。**

■改修前の状況

既存建物は昭和46年に司法研修所として整備された建物。

RENOVATION

講堂(改修前)

Auditorium(before renovation)



■改修方針

講堂であった大空間をメインの資料室として整備。既存部分を活かした合理的な整備となるよう改修を実施した。

資料室(改修後)

Exhibition & classifying space
(after renovation)

湯島地方合同庁舎リノベーション
国立近代建築資料館
National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs

概要

工事場所	東京都文京区湯島4-6-15外		
建物概要	本館(改修)	R C造5階建	延床面積 5,798 m ²
	別館(改修)	R C造2階建	延床面積 2,783 m ²
	新館(改修)	S 造2階建	延床面積 366 m ²
	守衛室(新営)	S 造1階建	延床面積 6 m ²
事業部局	文化庁 関東地方整備局		
設計	関東地方整備局営繕部		
監理者	関東地方整備局東京第一営繕事務所		
施工者	三幸建設工業株式会社 東洋建設株式会社関東支店		